

森林基幹道「裾野愛鷹線」の紹介

静岡県 東部農林事務所 森林経営課

林道「裾野愛鷹線」は富士山の南東側の愛鷹山麓に位置する計画延長 18.23km、幅員 4.0mの森林基幹道です。

県営事業として平成 27 年度に工事着手し、林道大沢入線から林道田向線の区間 1,312mが部分開通し、現在、林道田向線から林道下和田線の区間の工事が進められています。

当該地域には既設林道 5 路線が整備済みですが、各林道とも縦道の突っ込み線形のため路網としての機能が十分に発揮できていない状況にあ

ります。本林道が既設林道を結ぶことにより沿線森林の集約化が広がり、高性能林業機械による木材生産性の向上と安定供給体制の構築を通じた、持続可能な林業経営に資することと期待されています。

開設にあたってはシカの生息密度が高いことから、切土法面に食害防止のため金網付養生マットを採用したほか、林道沿線にこまめに土場を設置することで、木材を搬出する際のコスト縮減に努めています。



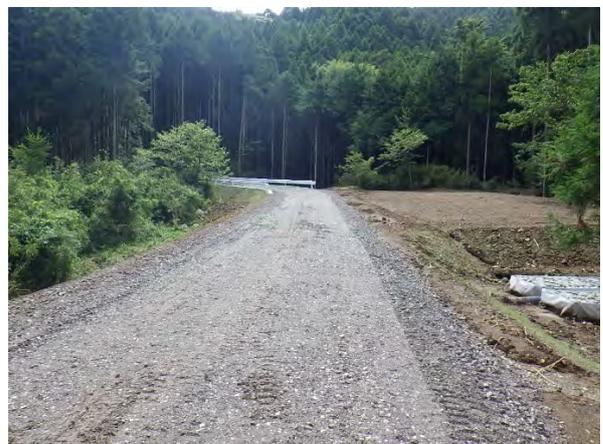
全体計画



養生マットによる法面緑化



位置図



林道沿線の土場の作設

